

# 標十五句

松岡隆子選

日暮里も西日暮里も花の雨	雛の日の昼の水仕をことと	もの芽のかたへに雀一羽の死	野遊の夜はかすかな身のほてり	買物のメモの最後に桜餅	通り過ぐ風捉へては柳の芽	一病に立ち止まりたるシクラメン	啓蟄や机上の埃手で拭ひ	跳び越せる気もしてをりぬ春の泥	せせらぎの飛沫に芹のうすみどり	菜の花の黄の翳りなく限りなく	何時知らず時間が飛んで亀の鳴く	立子忌の野に咲きそむる花のいろ	菜の花の影菜の花に揺れてゐる	蟻穴を出で夕方方の雨にあふ
梶浦道成	田幡栄子	刈屋ひで子	宮崎美智子	町田洋子	中島紀子	旭幹子	波塚照美	渡辺あつ子	神谷フジ子	濱地恵理子	鈴木綾	平沢千恵子	佐藤郭子	川上昌子